

INFORMATION & OTHERS

推しライダーを見つけて
全力で応援しよう!!

横一列のスタートから全開のエンジン音とともに1コーナーにだれ込むライダーたち。そして大空に舞い上がるジャンプ。初めて観戦に来られたお客さんは間違いなくモトクロスならではの迫力に圧倒されると思います。様々なモータースポーツ競技の中で、横一線でのスタートはモトクロスだけだと言われている。1コーナーを真っ先に立ち上がることをホルショットと

プレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

IB OPEN には赤ゼッケンがないし IA クラスには 01〜010 を付けるライダーがいますよね。彼らは今年 IB OPEN から IA クラスに昇格したばかりのルーキーたち。先輩たちの気迫に圧倒されてみんなドキドキしているはず。例



MXON
2025年10月4日5日にアメリカ アイアンマンレースウェイで開催されるMonster Energy FIM Motocross of NationsにTEAMJAPANが出演します。
そこで、全日本モトクロス会場にてTeamJAPAN応援Tシャツを観客の方々に販売し、日本代表の資金確保に向けた活動を行います。

今大会会場では、ファクトリーパドックの向かい側
ナチュラル様ブースにおいて1着3,000円
100枚のみの限定販売となります。

※ご購入頂いた方には、日本代表チームのポスターをもなくプレゼントします

レースの途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写れば公式アカウントにアクセスできるはず。

応援がレースを盛り上げる
声を出して応援しよう

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。興味のある方は、モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースやレーシングサービスブースを訪ねてぜひご覧になってください。

メーカーのパドックはもちろん、タイヤメーカーやサスペンションのサービスなども自由に見学できます。スタッフさんに声をかけて商品の説明を聞いちゃうなんていうのも全然アリです。ビッグチームだとポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているはずだし、IA ライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、子供さんは特に何人分ゲット出来るか、「ゼッケンステッカーください!!」とパドックにライダーを尋ねて回ったら楽しそう。更に今シーズンは全会場で電動キッズバイクの体験走行が企画されています。申し込みは先着順とのこと。お子さんにライダー体験をさせる絶好のチャンスです。この機会にぜひ!!

レースの合間にはコースを移動して迫力のある観戦ポイントを探すもよし。全体がほぼ見渡せる山の上に陣取るのもあり。会場内にいるのは誰もがモトクロス大好きな仲間たち。分からない事があたら気軽に声を掛け合って、大会

を丸ごと楽しんでください。そしてこれはお願い。今大会の会場内で、10月3〜5日にアメリカで開催されるモトクロス界最大にして最高のイベント、国際対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズ(MXoN)の応援Tシャツが販売されています。MXoNとはモトクロス界のワールドカップ。売り上げは全て日本代表チームの派遣費用に当てられます。日曜日には代表チームの壮行会が行われます。良かったらぜひこのクールなTシャツを来て、日本代表チームを応援してください。

シーズンオフも LINE でお届け
MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」が今年も LINE 公式アカウントを使って配信されています。料金は基本タダ(笑)。次戦以降の現地レポートはもちろん MXoN を含めた世界と日本のモトクロスの現状なんかもお届けしちゃいます。みなさんぜひ、右上の QR コードからお気軽にご登録ください。

編集後記

長い夏のインターバルも終わればあつという間。8月中旬、世間でいうお盆休みには世界選手権スウェーデン GP を取材に行きました。月末には V9 チャンピオン東福寺保雄さんのお別れ会があって、この大会が終わったらネーションズ取材の準備に取り掛かります。帰ったら全日本はクライマックス。舞台は埼玉と宮城。ちょっと遠いですが大きな感動が待ってます。今大会で推しライダーが見つかったらぜひ応援に来てください!!
MXING & MC Square 木田 淑

元全日本チャンピオン 富田俊樹が教える
名阪はココを見る!
みなさんこんにちは。IA2&IA1チャンピオンを経て、今はヤマハの開発ライダーをしている富田俊樹です。
今回の名阪、長かったインターバルが明けてライダーの誰もが意気込んでここにきてるハズ。しかもIA1はトリプルヒートですよ。あの下田 至も苦労しているから、たとえ僕から完走できても、IA2が参戦するIA2も含めて、地元勢を中心に重要なレースがあるってこと、コースのあらさがしをしよう!!
全復活したジェイは、ブライアンが参戦するIA2も含めて、地元勢を中心に重要なレースがあるってこと、コースのあらさがしをしよう!!
えー、キーじゃなくともスタートの前はホントに口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張するんです。そんな時は観客の応援が何より彼らの力になります。選手紹介やサイティングラップの時に、手を振ったり落着いて頑張れよって声をかけてあげてください。中には今回初めてレース観戦するという方もいらっしゃると思います。選手紹介でこっちを見て手を振ってくれたとか、スタート前に大声を出して気合いを入れたとか、ど派手なウエアーが超目立つとか、少しでも気になるライダーが見つかったらプログラムをチェック。誰か一人のライダーに的を絞って観戦するとレースの展開が良く分かると思います。スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら何かアクシデントが起きたかと思えるし、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

実績が証明する
かわす性能の大切さ
Arai
Racing Specialties
V-CROSS WHITE
https://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

Technix
Only the Best
www.technix.jp

D.I.D.
DIRT STAR

全日本モトクロス新聞
MXING
MOTOCROSSING
PREVIEW-MEIHAN SPORTS LAND
=インジェウィルソンが怪我で精彩を欠いた一方で、今季初のマークし存在を大きくアピールした大倉山仰と大城魁之輔 インターバル明けの激戦を制するのは果たして? Photo/H.Kawai

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2025 第5戦 近畿大会は、9月20〜21日に奈良県山辺郡山添村の名阪スポーツランドで開催される。前回中国大会から約3ヶ月のインターバルを経て迎えるシーズン後半戦。タイトル争いはここから一気にクライマックスへと突入する。国内最高峰IA1クラスはジェイ・ウィルソン、IA2は中島漱也、LMXクラスは川井麻央とチャンピオンが安定した強さを見せつける中、どのライダーが勝利と栄冠を引き寄せるか注目して欲しい。

怪我を乗り越え自身4連覇へ
力強い走りで突き進むジェイ

'21年のIA2クラスを皮切りに'22〜'23年はIA1クラスと3シーズン連続で全日本の頂点に輝いたジェイ・ウィルソン(＃1／ヤマハ)。前回中国大会こそ事前テストでの怪我で精彩を欠いたが、シーズンを通して見れば開幕から7ヒート中6勝。大会総合でも3連勝を飾るなど圧倒的な強さを見せる。

これに対し、同ポイントのランキング2番手に付けるのがホンダの横山遥希(＃2)と大倉由揮(＃4)。今大会直前に横山から怪我のため戦列を離れるとの報告があったのは非常に残念だが、一方の大倉はこのインターバルをヨーロッパで過ごし更にパワーアップ。ジェイとの差を詰めようと腕を磨いてきた。ヤマハのジェイに対してホンダのトップチームに籍を置く横山と大倉、個人競技でありながらメーカー同士の戦でもある全日本モトクロスで、大倉がどんな戦いを見せるか先ずは注目したい。

もちろん打倒ジェイを目標に掲げるライダーは他にも大勢いる。前回中国大会で大倉と共に今季初優勝をマークした大城魁之輔(＃8／ヤマハ)。カワサキのエース能塚智寛(＃5)も調子を上げて来ている。地元大阪の名門マウンテンライダーズに籍を置く内田篤基(＃10

／カワサキ)もトップ争いを繰り広げる力を持ったライダー。同じく地元の安原 志(＃7／ホンダ)や浅井亮太(＃38／ヤマハ)、浅井と同様にIA2クラスからのステップアップ1年目で上位進出を狙う西條悠人(＃37／カワサキ)。大塚豪太(＃6／ホンダ)やベテラン小方 誠(＃9／ホンダ)、今回地元の鈴鹿からスポット参戦して来た大ベテラン小島庸平(＃9／ホンダ)、2シーズン続けての大きな怪我から完全復活を目指す渡辺祐介(＃15／ヤマハ)の存在にもぜひ注目。15分+1周x3ヒートのトリプルヒート制で行われる今大会。国内最高峰クラスの激しいバトルを満喫して欲しい。

世界の強豪ブライアンに挑む
新チャンピオン中島そして…

伸び盛りの若手とベテランライダーが激突するIA2クラスは、昨シーズン横澤拓夢(＃2／ホンダ)との大接戦を制して栄冠を手にした中島漱也(＃1／ヤマハ)が更なる進化を見せ続ける。開幕戦にスポット参戦したヨーロッパの強豪ブライアン・シュー(＃53／ガスガス)と激しいバトルを繰り広げた中島は、前回中国大会でも再びスポット参戦して来たブライアンと真っ向勝負を繰り広げ、第2〜4戦で総合優勝をマーク。3度目の直接対決となる今大会、中島は

白熱のバトルで盛り上がりよう!!

- 1. トップライダー&地元選手をチェック!
- 2. お気に入りのライダーを一人見つける!!
- 3. モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
- 4. 頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

ゼッケン1に相応しい走りでブライアンを迎え撃つ。

また第3戦関東大会でIA初優勝をマークした田中淳也(＃4／ヤマハ)や柳瀬大河(＃5／ホンダ)、第2戦SUGOで初表彰台に上がったクラス最年少の吉田琉雲(＃14／ホンダ)、福村 謙(＃12／スズキ)ら地元勢にも熱い声援を送って欲しい。

女王川井を脅かす新たな
ライバルの出現はあるか?

昨シーズン、開幕戦でのポイント剥奪という窮地から挽回し、大逆転で自身4度目のLMXクラスチャンピオンに輝いた川井麻央(＃1／ホンダ)。長年タイトル争いを繰り広げてきた本田七海がこのクラスを離れたことでライバル不在とも言える状況となった川井は、

今季ここまで4連勝をマーク。そんな中、大腿骨骨折という大きな怪我で戦列を離れていた地元の川上真花(＃3／ヤマハ)が今大会からようやく復活を果たす。また川井になんとか追いつこうと勝負を挑んでいるのがスタートを得意とする箕浦未夢(＃6／ホンダ)や大久保梨子(＃12／KTM)、穂苅愛香(＃8／ヤマハ)、地元の楠本菜月(＃5／ホンダ)、松木妙子(＃10／カワサキ)ら。全戦全勝を目標に掲げた川井がこのまま独走するのか新たなライバルが台頭するのか。赤松樹愛(＃7／ホンダ)やペレララ(＃11／ガスガス)ら若手の台頭にも期待が寄せられる。次世代を担うIB OPENや土曜日に行われるキッズクラス、エキシビジョンの2st125やYZ125のレースにも注目。地元ライダーには特に熱い声援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2025スケジュール					
第1戦	HSR九州大会	4月13日	熊本県／HSR九州		
第2戦	SUGO大会	4月26〜27日	宮城県／スポーツランドSUGO		
第3戦	関東大会	5月17〜18日	埼玉県／オフロードヴィレッジ		
第4戦	中国大会	6月14〜15日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園		
第5戦	近畿大会	9月20〜21日	奈良県／名阪スポーツランド		
第6戦	関東大会	10月18〜19日	埼玉県／オフロードヴィレッジ		
第7戦	MFJ-GP	11月1〜2日	宮城県／スポーツランドSUGO		

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第5戦 近畿大会 開催おめでとうございます。

SUZUKI
YAMAHA
Revs Your Heart

左のQRコードは、ライブタイミングリザルトとライブ動画配信へのリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タ今大会のイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、主要チームの公式レポートや参加ライダーのSNSなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。